

新型コロナウイルス感染症の 影響に対する商工関連の 取り組み等について

目次

1. 新型コロナウイルス感染症の影響に対する
市等のこれまでの経過（商工振興関連） 1 ページ～
2. 新型コロナウイルス感染症の影響による
市独自緊急対策事業の実施状況等について 3 ページ～

番号	取組事業名	ページ
①	滋賀県新型コロナウイルス感染拡大防止臨時支援金の市独自上乘せ事業	3
②	栗東市小規模事業者事業継続応援給付金事業	3
③	栗東市小規模事業者持続化補助金〈コロナ特別対応型〉事業	4
④	栗東市セーフティネット資金利子補給金事業	4
⑤	りっとう元気アップ応援券事業	4
⑥	りっとう元気アップ応援券取扱店給付金事業	5

新型コロナウイルス感染症の影響に対する市等のこれまでの経過（商工振興関連）

主な対応と経過		備考
令和元年		
12月	中国湖北省・武漢市で原因不明の肺炎患者確認	
令和2年		
1月16日	国内初の陽性患者確認	
1月29日	滋賀県新型コロナウイルス感染症対策本部の設置	
2月26日	栗東市新型コロナウイルス感染症対策本部会議の設置	
3月2日	「セーフティネット保証4号」の発動 (売上高前年比較20%減以上)	R3/3/1まで延長
3月5日	県内初の陽性患者確認	
3月13日	「危機関連保証(6項)」の発動 (売上高前年比較15%減以上)	R3/6/30まで延長
3月17日	日本政策金融公庫による「新型コロナウイルス感染症特別貸付」の取扱い開始	実質無利子・無担保融資 上限額6,000万円
3月18日	栗東市セーフティネット資金利子補給金制度創設の公表	
4月1日	滋賀県制度融資セーフティネット資金の保証料率がゼロに引き下げ	R2/8/31まで
4月2日	栗東市内陽性患者初確認	
4月7日	7都府県に緊急事態宣言発出	
4月21日	緊急事態宣言全国に拡大	5/4延長(全国~5/31)
5月1日	「セーフティネット保証5号」全業種を指定対象 (売上高前年比較5%減以上)	R3/6/30まで
5月1日	「滋賀県新型コロナウイルス感染症対応資金」の創設	実質無利子・無担保融資 上限額3,000万円
5月1日	国「持続化給付金」受付開始	R3/2/15まで
5月7日	「滋賀県新型コロナウイルス感染症拡大防止臨時支援金」の実施	市上乗せ措置を実施 ~R2/6/26まで受付
5月11日	市議会5月補正予算議決 滋賀県臨時支援金と持続化補助金コロナ特別対応型の上乗分	
5月14日	緊急事態措置改定(施設使用制限等の解除)	緊急事態宣言解除(滋賀県含む39県のみ)
6月15日	「滋賀県新型コロナウイルス感染症対応資金」の融資限度額の引き上げ	融資上限額拡大 3,000万円→4,000万円
6月29日	市議会6月補正予算議決 小規模事業者給付金とセーフティネット資金利子補給金	
7月14日	国「家賃支援給付金」受付開始	R3/2/15まで
7月15日	「栗東市小規模事業者事業継続応援給付金」の実施	申請受付R2/9/30まで

新型コロナウイルス感染症の影響に対する市等のこれまでの経過②（商工振興関連）

主な対応と経過		備考
令和2年		
7月22日	Go To トラベルキャンペーン開始	R3/2/1 まで
8月3日	市議会8月補正予算議決 <u>りっとう元気アップ応援券交付事業</u>	R3/2/28 まで
8月20日	県「新しい生活・産業様式確立支援事業」受付開始	R2/11/30 まで
10月13日	市議会10月補正予算議決 <u>りっとう元気アップ応援券取扱店給付金事業</u>	
10月20日	滋賀 Go To Eat キャンペーン開始	R3/3/31 まで
11月1日	<u>りっとう元気アップ応援券利用開始</u>	R3/2/28 まで
11月2日	<u>りっとう元気アップ応援券取扱店給付金受付開始</u>	R3/1/29 まで
12月15日	GoTo トラベル全国一時停止へ	
令和3年		
1月7日	1都3県に緊急事態宣言発出	R3/2/7 まで
1月13日	7府県にも緊急事態宣言発出 合わせて11都府県に	R3/2/7 まで
1月22日	「新型コロナウイルス感染症特別貸付」の要件緩和、利下げ限度額の引上げ	中小事業：3億円 国民事業：6,000万円
1月29日	「滋賀県新型コロナウイルス感染症対応資金」の融資限度額の引き上げ	融資上限額拡大 4,000万円→6,000万円
2月2日	緊急事態宣言を延長（10都府県）	R3/3/7 まで
2月28日	<u>りっとう元気アップ応援券使用期間終了</u>	使用済券換金期間：3/19 まで

※下線部は、市独自の緊急経済対策項目。他に市広報等により事業者への情報提供を継続実施中。

2. 新型コロナウイルス感染症の影響による 市独自緊急対策事業の実施状況等について

新型コロナウイルス感染症による影響を受けている市内中小企業等への緊急的支援策について、令和2年度における実施状況と結果概要は次のとおりです。

①滋賀県新型コロナウイルス感染拡大防止臨時支援金の市独自上乗せ事業

1. 概要

休業等を要請している全ての期間の内、原則、令和2年4月25日から令和2年5月6日までの全ての期間において、滋賀県の要請に応じ、休業等を行った事業者への県支援金への市独自の上乗せを実施。

2. 支援金額（申請受付期間：令和2年5月7日～令和2年6月26日）

中小企業：20万円＋市上乗せ10万円＝30万円

個人事業主：10万円＋市上乗せ5万円＝15万円

3. 事業実績結果

区分	件数		金額（円）		合計 件数	執行額 (万円)	執行率
	中小	個人	中小	個人			
栗東市	60	215	6,000,000	10,750,000	275	1,675	27.9%
滋賀県全体	—	—	—	—	7,744	125,180	—

②栗東市小規模事業者事業継続応援給付金事業

1. 概要

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上高が減少している市内の小規模事業者に対し事業の継続を下支えするため、緊急支援として事業継続のための給付金の給付を実施。

2. 給付金額（申請受付期間：令和2年7月15日～令和2年9月30日）

15万円＋5万円（地代家賃有りの方上乗せ）＝最大20万円

3. 事業実績結果（給付対象者に2回目のアンケート調査実施済、参考資料2を参照）

給付決定件数と給付決定金額			
給付件数 509件 給付合計金額 88,600,000円 ※執行率：59.3%（金額ベース）			
内訳 法人：15万円×186件＋5万円（地代家賃上乗せ）×96件＝32,700千円 個人：15万円×323件＋5万円（地代家賃上乗せ）×149件＝55,900千円			
業種別件数と割合（総務省産業分類の大分類にて分類）			
建設業	： 115件(22.6%)	サービス業（他に分類されないもの）	： 24件(4.7%)
宿泊業・飲食店	： 84件(16.5%)	医療・福祉	： 10件(2.0%)
卸売業・小売業	： 68件(13.4%)	運輸業・郵便業	： 7件(1.4%)
生活関連サービス業・娯楽業	： 61件(12.0%)	金融業・保険業	： 4件(0.8%)
学術研究・専門・技術サービス業	： 39件(7.7%)	情報通信業	： 3件(0.6%)
製造業	： 38件(7.5%)	農業・林業	： 2件(0.4%)
不動産業・物品賃貸業	： 27件(5.3%)	漁業	： 1件(0.2%)
教育・学習支援業	： 25件(4.9%)	電気・ガス・熱供給・水道業	： 1件(0.2%)
業種別売上高減少金額（千円未満切捨）と業種別売上高減少率平均			
建設業	： 1,764,040千円(55.5%)	教育・学習支援業	： 26,170千円(70.6%)
不動産業・物品賃貸業	： 903,880千円(62.2%)	運輸業・郵便業	： 20,373千円(40.0%)
卸売業・小売業	： 347,919千円(51.9%)	農業・林業	： 19,662千円(59.8%)
宿泊業・飲食店	： 202,911千円(53.3%)	医療・福祉	： 14,407千円(43.3%)
製造業	： 185,397千円(53.5%)	電話・ガス・熱供給・水道業	： 7,712千円(43.0%)
学術研究・専門・技術サービス業	： 164,089千円(60.7%)	金融業・保険業	： 7,516千円(50.6%)
生活関連サービス業・娯楽業	： 135,604千円(51.7%)	情報通信業	： 7,189千円(58.6%)
サービス業（他に分類されないもの）	： 115,010千円(47.8%)	漁業	： 173千円(36.6%)
売上高減少金額合計	： 3,922,060千円	売上高減少金額（率）平均	： 7,705千円(54.7%)

③栗東市小規模事業者持続化補助金＜コロナ特別対応型＞事業

1. 概要

国の「小規模事業者持続化補助金＜コロナ特別対応型＞」の採択を受け事業を実施する市内に事業所を有する小規模事業者に対して市独自の上乗せを実施

2. 補助金額・補助率

国補助金	栗東市 上乗せ金額
コロナ特別対応型（類型A・B・C） 補助率 2/3 又は 3/4 以内 （上限額 100 万円）	補助率 2/3 以内（上限額 33 万円）

3. 栗東市申請状況（令和3年2月19日現在）

○コロナ特別対応型：0件（交付決定金額：0円） ※国採択件数：17件

④栗東市セーフティネット資金利子補給金事業

1. 概要

市内に事業所を有する事業者であって、滋賀県中小企業振興資金における融資制度のうちセーフティネット資金を令和2年2月18日～令和3年1月31日までに融資を受けた事業者へ支払利子の一部補給を実施

2. 補給金額

毎年支払い済み利子の一部（1.0%以内）を利子補給。上限額は1年当たり15万円（1事業者につき）を限度に補給。

3. 申請件数と交付決定件数（申請受付期間：令和3年1月4日～令和3年2月12日）

○申請件数：177件

内訳 セーフティネット資金4号：43件（新規枠：41件 借換枠：2件）
セーフティネット資金5号：48件（新規枠：38件 借換枠：10件）
危機関連保証（6項）：86件（新規枠：82件 借換枠：4件）

○交付決定件数：170件

○交付決定金額：15,068,000円

⑤りっとう元気アップ応援券事業

1. 概要

新型コロナウイルス感染症の流行により大きく影響を受けた市民生活の下支えと、市民の消費行動による市内経済の活性化を図ることを目的とし、あわせて国の提唱する「新しい生活様式」の市民定着に向けた取り組みの一助となるよう地域振興券交付事業を実施するもの。

2. 交付金額（使用期間：令和2年11月1日～令和3年2月28日）

令和2年8月1日において住民基本台帳に登録がある者を対象とし、1人あたり3,000円分を交付。

3. 取扱店登録状況・換金状況（令和3年2月18日現在）※取扱店登録申請終了済

店舗区分	登録店舗数 (店)	券種別枚数(枚)				換金金額 (円)	執行率 (金額ベース)
		飲食店	一般店	全店共通	合計		
飲食店	160	87,958	48,377	27,855	164,190	82,095,000	38.9%
一般店	314		45,245	18,091	63,336	31,668,000	15.0%
大型店	25			58,991	58,991	29,495,000	14.0%
合計	499	87,958	93,622	104,937	286,517	143,258,500	67.9%

4. りっとう元気アップ応援券に関する市民アンケート調査

無作為抽出した世帯主2,000名に対して、「りっとう元気アップ応援券事業」について、各世帯における使用状況と「新しい生活様式」への取り組みなど、新型コロナウイルス感染症に伴う市民生活への影響、事業の効果等を把握するために市民アンケート調査を実施するもの。

■アンケート調査期間

令和3年2月15日～令和3年2月28日

■アンケート回収率（令和3年2月22日現在）

586件/2,000件（29.3%）

⑥りっとう元気アップ応援券取扱店給付金事業

1. 概要

市内事業者の事業の維持及び発展に向けた支援並びに「りっとう元気アップ応援券」を市民が安心して利用することができる環境を推進するため、りっとう元気アップ応援券取扱店を対象に給付金を支給するもの

2. 交付金額（申請受付期間：令和2年11月2日～令和3年1月29日）

りっとう元気アップ応援券取扱店舗1店舗あたり一律5万円

※取扱店舗1店舗あたり1回限り

3. 支給決定結果

区分	支給店舗数（店）	支給金額（円）	執行率（金額ベース）
法人	197	9,850,000	39.4%
個人	291	14,550,000	58.2%
合計	488	24,400,000	97.6%

4. 取扱店舗現地確認ヒアリング結果

「りっとう元気アップ応援券」の取扱店舗に対して、「新しい生活様式」の実践による新型コロナウイルス感染症拡大の防止をはじめとした市民の安全・安心の確保のための取り組みの実施状況と応援券の使用状況ならびに、今後の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う業績への影響や支援策の検討、国・県に対する支援策要望の資料とするために現地確認ヒアリングを実施するもの。

■確認期間

1回目：令和2年12月2日から2週間程度

2回目：令和3年1月18日から2週間程度（新規登録の店舗が対象）

3回目：令和3年2月8日から1週間程度（新規登録の店舗が対象）

■確認内容

職員が店舗を訪問し、ヒアリングシートによる確認と聞き取りを行う。

- ・市民の安全・安心の確保のための取り組みの実施状況
- ・元気アップ応援券の使用状況
- ・今後の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う業績への影響や支援策の検討
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止システム『もしサポ滋賀』の利用促進
- ・市等の制度周知チラシ等も併せて配布

■確認状況（2月15日現在）

確認済店舗数 489店舗

■ヒアリング内容の傾向

実際に訪問した職員の感想としては、どの事業者も応援券事業に好意的であり、感謝されていることが多い。栗東、草津、大津に三店舗ある飲食店ではりっとう元気アップ応援券が始まった11月は明らかに栗東の店舗のみ売り上げが上がったという声もあった。今回のような事業があれば、今後も参加するという店舗は9割を超えている。

○各質問からの傾向（上位3位）

・問1. 市民の安全・安心の確保のための取り組みの実施状況		
マスク着用や消毒液の設置	489	40%
密にならないような対策	249	21%
キャッシュレスなど非接触型設備	164	14%
対策をしていない	0	0%
・問2. 元気アップ応援券を利用するのは来店客の何割程度ですか		
1～2割	188	43%
0～1割	69	16%
3～4割	66	15%
・問3. 元気アップ応援券事業が売上増に繋がっていますか		
売上に変化はない	250	60%
売上が増えた	140	34%
売上が減った	19	5%
・問4. 元気アップ応援券事業が来店客増に繋がっていますか		
来客に変化はない	254	60%
来客が増えた	132	31%
来客が減った	26	6%
・問5. 今後の経営状況は見通せますか		
横ばい	130	32%
見通せない	111	27%
悪化する	110	27%
・問6. 今後、市に対して望まれる支援施策等がありますか（複数回答）		
助成金・補助金	160	23%
給付金	156	23%
プレミアム付商品券	128	19%
・問7. 今後も元気アップ応援券のような事業があった場合参加しますか		
参加する	388	94%
わからない	12	3%
その他	9	2%
・問8. 「もしサボ滋賀」を周知していますか		
していない	395	84%
している	71	15%
その他	3	1%